

小諸市とUR都市機構他 4 者が共同開発する情報一元化アプリ

「 Komomag」に関する記者会見のご案内

～ 小諸の情報、コレ 1 つで。楽しい街アプリ誕生。～

小諸市、独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」）、小諸商工会議所、一般社団法人こもろ観光局、株式会社ヤプリ、Wind. 合同会社の 6 者は、多極ネットワーク型コンパクトシティの実現を目指す小諸市において、小諸市での生活や小諸市への来訪に必要な情報の一元的な提供、および小諸市のブランド力向上に資するデジタルコンテンツの提供のためのプラットフォームアプリ『Komomag.（コモマグ）』を共同で開発し、令和 7 年 11 月 13 日（木）にリリースすることとなりました。

つきましては、下記のとおりリリースに関する共同記者会見を開催いたしますので、お知らせいたします。

記

- 1 日時 令和 7 年 11 月 4 日（火）午後 2 時 00 分から
- 2 場所 小諸市役所 3 階第 1・2 会議室およびオンライン配信
（長野県小諸市相生町三丁目 3 番 3 号）
※取材をご希望の方は、下記フォームよりお申し込みください。
<https://forms.gle/6zGwQxGcgAwxASQZ6>（報道関係者のみ）
- 3 出席者 共同開発団体の各代表者
小諸市
UR都市機構東日本都市再生本部
小諸商工会議所
一般社団法人こもろ観光局
株式会社ヤプリ
Wind. 合同会社
- 4 次第 事業概要説明、アプリ機能説明、各代表者挨拶、写真撮影、質疑応答

お問い合わせ先

小諸市

総務部企画課（電話）0267-22-1700（内線）2350

UR都市機構

東日本都市再生本部総務部総務課（電話）03-5323-0625

<本事業の背景および目的>

小諸市では、持続可能なまちづくりの実現に向けて、多極ネットワーク型コンパクトシティの理念に基づき、小諸駅を核とする中心市街地において、都市機能の集約を図っています。既に市役所・図書館といった公共施設の整備が完了しているほか、小諸駅周辺を中心に移住者や民間事業者による新規開業が相次いでいます。今後は小諸市の魅力を発信することを通じ、市民や来街者の回遊を促進することが求められています。

一方、小諸市内では観光、暮らし、ビジネスに関する情報が幅広く発信され、目的ごとに異なる媒体や窓口を利用する必要があり、情報を得る手段が多様化しています。また、高齢世代を中心に「デジタル情報格差」が生じています。

この課題に対し、多極ネットワーク型コンパクトシティによる都市再生に関する基本協定を締結している小諸市とUR都市機構が商工系の各事業者等と連携し、誰もがワンストップで小諸市の最新情報にアクセスできる環境を構築すること、デジタル情報格差の解消および市民や来街者の更なる回遊を促進することを目指し、本事業を実施いたします。

<小諸市情報一元化アプリ「Komomag. (コモマグ)」の事業概要>

本事業は、デジタルを切り口としたプラットフォームを構築し、「まちに関する情報が取得しやすく」、「地域コンテンツを磨き上げ、地域プレイヤーの活動を促進する」ことを目的としたツール（アプリ）を活用します。様々な情報コンテンツの作成・提供を通じて、情報提供者、利用者間との結びつきを高め、市民をはじめ、市外からの来訪者も、全国にいる小諸市ファンも、小諸市の「今」を「知り・感じ・楽しむ」ための取組です。

* 特設サイト：<https://www.komoro-tour.jp/komomag/>



UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



社会課題を、超えていく。



会場案内図



@GeoTechnologies,Inc.「PL21001」

住所：長野県小諸市相生町三丁目3番3号（小諸市役所3階第1・2会議室）